

一人一人が考える「幸せとは…」魅力ある学校づくり推進フォーラム

- 休業日の土曜日を利用し、陽南中学校において、生徒・保護者・地域住民・地域学校園関係者など約130名の参加を得て、魅力ある学校づくり推進フォーラムが開催されました。
- 例年、様々なテーマのもと、小グループによる話し合いを重ねてきました。今年度のテーマは「幸せ」。当日は、中学生から大人まで、自分が考える幸せについて活発に意見を交わしました。

- 1 あなたが「幸せ」だと感じる時は？
- 2 あなたが考える「幸せ」とは？
- 3 「幸せ」に欠かせないものとは？そう考える理由は？
- 4 あなたは今「幸せ」ですか？ 「幸せ」に向けて努力していることは？

- メールや SNS が全盛のなか、膝を交えながら、直接声に出して自分の考えや思いを伝え合うこの活動の意義はとても大きいと感じます。様々な世代が語り合うことができるこの地域のこの環境こそが、普段は気づかない「幸せ」なのかもしれません。
- この素晴らしい陽南地区を語る上で、興味深いお話を地域協議会会長からお聞きしました。その昔、「組合立」だった学校が、「市立」の学校になるまでの過程で、地域の人々の大変な苦労があったそうです。校歌の3番にある「困苦に耐えし、人の子よ」の歌詞に表われているとのことでした。
- 最後は、全ての班から発表がありました。堂々とした態度で発表に臨む生徒、それを温かく見守る参加者の姿が印象的でした。



簡単な自己紹介から



和やかな雰囲気での話し合い



1班～12班まで発表

【学校の声】

この取組を通して、生徒たちには、自分の意見をもつ大切さや言葉を介して相手とコミュニケーションをとる楽しさを再認識してほしいと思っています。

地域協議会の方々には、このフォーラム以外にも、歴史探訪ウォーキングなど、様々な取組でお世話になっており、今年度からは、図書ボランティアの方々に図書の整理やポップ作りに取り組んでいただいています。

【地域協議会の声】

寒い時期に開催するので、事前に近隣の小学校から暖房器具を借りるなど、地域学校園内の協力があってこそ開催できる取組です。地域の方々から「毎年、中学生と話ができるので楽しみにしているよ。」との声も聞かれ、嬉しい限りです。我が子以外の子どもと時間を割いて話す機会はなかなか持てないので、貴重な場となっています。

【いいね！】

事前準備から地域学校園内の連携が図られており、当日も地域ぐるみによる異世代間交流の場となっている大変有意義な取組である。

多感な中学生が、親には言えないことを地域の大人に話す姿、それを共感して受け止める大人。まさに「ナナメの関係」が体现されている。

